しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渇くことがありません。
わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。

高松泉キリスト教会　ニュースレター

第 159 号（2023 年 4 月号）

いずみ

香川県高松市伏石町 2018-5
Tel & Fax 087-867-2302
http://izumichurch.holy.jp/
発行人　宮地　宏一

今月、1 歳になる次女は 10 ヶ月ごろから、私や妻の膝に兄弟や他の子が座っていると、どかそうとします。嫉妬しているんですね。将来、強い女性になりそうです笑

さて先日、長女と次男の作ってくれたお弁当を持って、お花見にいきました。朝から二時間かけて卵焼き、いなりずし、キュウリのお漬け物、イチゴ大福などを準備してくれたのです。とても美味しくて、あっという間に食べ終わってしまいました。次男の将来の夢は、レストランのシェフ。私には 100 円で食べさせてくれるそうで、今から楽しみです。

今月も皆様とご家庭の上に、神さまからの恵みが豊かに注がれますように。　(2023.04.01)

「正論」ではなく、、、

この間、高校生たちが「学校や教会、神様の前でも良い子であろうとする自分がいる」と話してくれたのです。私の目にも、彼らは全くスレていないように見えました。でもその姿は、ありのままの本来の自分ではないという認識が彼らにはあったのです。そんな彼らが神様の前ではもっと自分をさらけ出して良いのだという気づきが与えられ、素直な自分でいたいと応答していたことが印象的でした。

私たちは年を重ねれば重ねるほど、ありのままの自分を人前で現しづらくなるのです。それは自分の不完全さ、弱さを知るようになるからでしょう。私も周りから良い人、完璧な父親・夫と見られたいという願望があります。でも、いくら取り繕っても、無理ですね。自分では隠しているつもりでも、不完全さ、弱さが身体全体からこぼれ落ち、すべてが明らかになってしまうのです。このように完全さとは無縁の自分にガッカリすることもよくあります。

さて昨年の冬から世間を賑わせているのが、「ChatGPT」という対話型の AI（人工知能）です。

質問を投げかけると、それに見合った答えを与えてくれたり、論文の要約などをしてくれます。聖書箇所を指定し、「ここから子ども向けの説教を作って」と入力すると、数秒で出来上がるのです。それも片言の日本語ではなく、とても分かりやすく、理論立てたものが提供されます。牧師にとって死活問題だと一人焦る私ですが、この機能を上手く用いている仲間もいるのです。

その一方で、あまりの「正論」が返ってきて驚く人もいるようです。文芸評論家の藤田直哉さんもその一人。彼が ChatGPT に「AI 時代に批評家は失業するか」と聞くと、「批評家が失業するかどうかは、個々の批評家の技術やスキル、そして市場ニーズによって異なります。批評家は、AI 時代において必要とされるスキルを身につけ、市場ニーズに応えられるよう努力することが大切です」との解答が与えられるのです。

これに藤田さんは「ごもっとも。でもどこか、『気持ち』に寄り添って貰えないさみしさも覚え」たようです。藤田さんとしては「正論」ではなく、職業が失われるかもしれない自分の心情をもっと理解した答えが欲しかったのでしょう。

しかし ChatGPT は冷静に機械的に答えるのです。そんな ChatGPT の「正論」から、藤田さんは以下のようなことを教えられます。

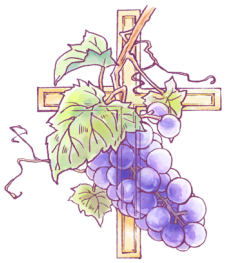
経験からすると、学生が AI に書かせたリポートはすぐに見抜ける。悲しいことに、AI は平均的な大学生よりも明晰な論理と構造で書けるので、きれいで正確すぎるリポートは AI の可能性が高い。逆に言えば、「間違い」「崩れ」「下手さ」などが、「人間性」の指標になっているということである。

――と書きつつ、AI が出来ない「心情」や「人間性」の部分に寄り添う役割が人間の批評家に残っているというのも、ChatGPT が教えてくれたことである。嫌になってしまう。

【朝日新聞 2023.2.18「藤田直哉のネット方面見聞録」より】

AI か、学生か、どちらが書いたのかを判断する材料が「間違い」「崩れ」「下手さ」などの「人間性」にあるとは、興味深いことですね。確かに、どこか抜けている人、思いっきり間違えてくれる人を見つけると「あ～人間らしい人に会えた」と嬉しくなるのです。また真面目で、堅物の人の崩れた部分を発見すると、「お、同じ人間だった」と親しみが湧きます。正論を押しつけられ、間違うことが悪であるかのような時代にあって、私たちはどこかで人間くささを求めているのかもしれません。

ところで私たちの神様は、どうでしょうか。ChatGPT のように私たちの思いなどを全く考慮されず、「正論」で返されるお方でしょうか。いいえ。神様は私たちの心情に寄り添い、弱さ、不完全さを理解してくださるお方。しかも私たちの救い主イエス様は、神様のあり方を捨てて、私たちと同じ人間となって下さいました。



イエス様は私たちと同じようにお腹を空かせ、友人の死に対して涙を流され、不正に対しては怒りを燃やされました。また人から妬まれたり、非難の目で見られたり、愛する弟子たちから裏切られたり、ありとあらゆる苦しみを味わわれたのです。

それればかりでなく、イエス様はご自分の弱さを隠されませんでした。十字架にかかられる直前、弟子たちの前で苦しみもだえられ、「わたしは悲しみのあまり死ぬほどです」と告白されました。さらに父なる神様に「わが父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください」と祈られたのです。この杯とは、十字架のことです。イエス様にとっても十字架の死は苦痛でした。でもイエス様はご自分の思いを突き通されなかったのです。父なる神様のみこころに従い、自ら十字架で死んでくださいました。それは私たちの罪を赦すためだったのです。

けれどイエス様は十字架で死なれて、終わりではありませんでした。三日目に死人の中からよみがえられたのです。私たちの最大の敵である死を打ち破り、死に勝利されました。このようにイエス様が私たちの罪のために十字架で死なれ、三日目によみがえれたことをお祝いするのがイースター。また、よみがえられたイエス様は、今も生きておられます。そして常に私たちの弱さに同情し、私たちの不完全さに寄り添ってくださり、つまずき倒れそうな私たちを助けて下さるのです。

イエスは、自ら試みを受けて
苦しまれたからこそ、
試みられている者たちを
助けることができるのです。

- 礼　　拝　　毎週日曜日 10：30～12：00
- 祈 祷 会　　毎週金曜日 10：30～12：00
- イズミン・キッズ　毎週日曜日　9：30～10：20
- おやこ de えほん　毎週水曜日 10：30～13：30
- 韓 国 語 教 室　毎週火曜日 10：30～11：30
- Friendly English(子ども英会話教室)　毎週火曜日 16：00～18：10